



見上げると瑞々しい青葉を透かした円やかな日差し。心地よい風が運んでくる葉擦れや香り。臈月。この季節の散策は、いつも何かわくわくするものを私の心に灯してくれませう。ゆらめく木漏れ日に誘われて、今日は、上高野を訪ねましょう。

すぐ目の前に比叡山を仰ぎ見る上高野は、昔、埴川といわれた高野川沿いを北上し、三宅八幡宮さんの参道、三宅橋を渡り、果ては若狭へと至る鯖街道の一つ、大原街道の辺りです。



芽吹き始めた木の芽や川魚のもじりのきらめきが気になりだすと、気持ちの向く先は、いくつもあるのですが、上高野で挙げるなら、まずは蓮華寺さんですね。川の清流を取り込んだ池と楓のお庭が素敵なお寺です。もとは洛中にあつたお寺でしたが応仁の乱の後に荒廃。江戸時代に加賀藩の家老、今枝近義が祖父の菩提を弔うためにこの地に移し、石川丈山、狩野探幽、木下順庵、隠元禪師など、文化人の方々の協力を得て再興されたものだそうです。本堂鐘樓堂、井戸屋形などは、創建当時のままなのだとか。私にとっては、私淑するアーティストたちの共演による、学び多き良きお寺です。

今時分なら、楚々と咲いたヒメシヤガやミヤコワスレが、石畳の脇から出迎えてくれるかしら。開け放たれた書院からお庭の池や美しい緑に身を沈め、心ゆくまで眺めていると、日々の荷物を少し置くことができるように思います。池中に亀島、鶴石を配し、庭園において、舟形をした石はとでもシンボリックで、対岸の彼岸ではなく此岸、この俗世に軸先を向け帰ってきています。この舟は浄土世界が現世にあることを教えていると聞きました。思えば人それぞれ、十分に心洗われ癒されたら、この舟で帰ってこられますね。

お寺を出ると、キラキラと川の水が美しい。昔この辺りには、水路が巡らされ、いくつもの水車が生活を支えていたそうです。次の目的地まで、今も残る水路を探し歩くのもなんと楽しいもの。上高野には、かつてこの地に移り住んだ古の人々の営みの跡を今も

たところに拝殿があり、その非業の死から日本一の怨霊として畏れられた、早良親王がお祀りされています。桓武天皇から贈られた「崇道天皇」という諡により崇導神社と呼ばれるのだそうです。親王さまの無念さは、村人たちにより長い時間をかけ慰め、癒されてこられたのでしょうか。京都があるのも、こういう方々の犠牲の上にあるのだといつも感じますが、今、早良親王を祀る聖域には、ひっそりと穏やかな時が流れているようです。

上高野にはほかに、出雲氏の後

多く見ることが出来ます。奈良時代より以前、出雲氏の時代には伊多太の森と呼ばれた森があり、農耕の守り神、湧き水の神が伊多太社に祀られていました。寺社の手水舎やお池は、今も川や比叡山の谷水で満たされ、水の神様にちゃんと見守られた豊かさを感じます。

伊多太社は旧跡を残して神社となり、今は、崇導神社の境内にひっそりとお社が佇むのみですが、地元の方に伺ったところ「いたいた大明神」とも呼ばれ、頭痛の神さん、知恵の神さんとして親しまれつつ畏れられて、霊験もあらたかようです。

上高野にはほかに、出雲氏の後にやってきた小野氏の人たちの痕跡として、小野妹子が宇佐八幡宮から勧請したことが興りの三宅八幡宮や、瓦屋のあったところと伝わるおかいらの森、小野神社、妹子の子といわれた小野毛人の墓などがあります。八幡さんのお池で一休みしたり、お庭が美しい、栖賢寺の観音さまにご挨拶したり、高台に多宝塔がある三明院からの眺望を楽しんだり。八瀬に足をのばす間もなく、気がつけば夕暮れ。ああ、あるいた歩いた。

水、風、若葉に、小鳥の囀り。澄明で私好み溢れる季節。今度はどちらへ足をのぼそう。守護寺、それとも赤山さん？ 善峯寺辺りも捨てがたいですね。

またこの辺りは、古くからの主要な街道筋であり、京の都の入り口の一つ。同時に都からは鬼門にあたるため、出雲氏がお祀りしていたもう一つの神、出雲高野神社が、その守護の役目を担っていました。その後身が今の崇導神社です。神社の入り口や参道には「伊多太神社」「小野毛人朝臣之墓」などと刻んだ石碑があり、そういった歴史の断片を見るにつけ、地元の方たちの尽力により守り残されてきた祖霊や神さまが境内に沢山いらつしやるんだなあと思えます。参道は裏山に続く木々に囲まれ、幽玄の森のよう。静まりかえった境内の小さなお社にはそれぞれに歴史があり、この地に関わるさまざまな出来事に思いを馳せていると、ふと誰かの気配を感じると、ふと誰かの不思議な気持ちになります。まっすぐに参道を進むと、社務所から少し石段を上がった



〈こばやし ゆきえ〉
京都・下鴨生まれ。大学で日本画を学び、卒業後は本、雑誌、広告、新聞、TVCMなど幅広く絵に関わる仕事に携わる。著書に『京都でのんびり 私の好きな散歩みち』、『京都をてくてく私が気ままに歩くみち』、『京都のいちねん わたしの春夏秋冬』がある。